


恒例の新春特別対談は、警察庁保安課長に昨年8月30日付で着任された楠芳伸氏をお迎えしました。庄司孝輝日遊協会長も、昨年6月に就任してこれが初めての新年です。

清新なお二人に、パチンコ・パチスロ産業の今後について率直な意見交換をしていただきました。庄司会長は「ホール、メーカーを含めた業界が一体となって力を合わせ、本来の遊技産業を再生させていく年にしたい」と抱負を述べ、楠課長は「業界が団結して、大衆娯楽としての基盤を盤石なものとするため、日遊協が果たす役割はますます大きい」と期待を込められました。



警察庁保安課
楠 芳伸 課長

庄司会長 明けましておめでとうございます。今年もよろしくご指導をお願い申し上げます。

昨年保安課長に着任されて、初めての新年を迎えられました。幅広く担当されている業務の中で、私たち遊技産業についてはどのようなご感想をお持ちになりましたでしょうか。

**健全化への努力
評価されるも
数々の課題残る**

楠課長 明けましておめでとうございます。昨年8月に着任し、早いもので4か月が過ぎました。本年もよろしく願っています。

さて、ぱちんこ営業についての感想ということですが、ぱちんこ営業は、適正に営まれば手軽で身近な大衆娯楽を提供することができるものと考えています。ですから、社会の目に照らし、また、法に照らし、適正に営まれるということが非常に大事だと思います。

業界では、これまでも1円ぱちんこに代表される遊技料金の低価格化、不正改造防止対策、射幸性を抑えた遊技機の開発、賞品の取りそろえの充実等、営業の健全化に向けた様々な取組を進められてきたものと承知しています。一方で、依然としての

大衆娯楽の構築へ 日遊協の果たす

役割は大きい



日遊協
庄司孝輝会長

対談の合間にユーモアを交えて語り合う楠芳伸保安課長と庄司孝輝日遊協会長(左)

して楽しむことができる遊技を提供するという方向性に逆行しているのではないかと危惧しています。

このため、ヘビィユーザーへの依存を解消することが業界にとって一層重要になってくるものと考えます。業界には、違法営業に徹した上で、低貸玉営業の普及・定着や、射幸性を抑えた遊技機の開発等を通じて、遊技客が、ポケットマネーの範囲内で、手軽に安く安心して遊技を楽しむことができる環境の整備に向けて、引き続き様々な取組を進めていただきたいと思っています。

東京五輪を歓迎 独特の文化として アピールしたい

庄司 2020年夏季オリンピック・パラリンピックの東京開催は、さまざまな業界にビジネスチャンスがもたらされると思います。わが業界も、ぜひこの機会にばちんこ・パチスロを日本で生まれた日本独特のカルチャーとして、世界から来られるお客様方にアピールして、できれば日本の有力な観光資源に成長させたい。そのためには、改めて産業の育成・強化が重要だと感じました。

6年後のオリンピックという絶好の目標が出現した今こそ、低迷

めり込みに起因すると思われる各種問題や、遊技機の不正改造事犯、

賞品買取事犯、違法な広告宣伝・賞品提供等が後を絶たず、健全化を阻害する要因が残されています。

今年も警察としては、引き続き、こうした問題に一つ一つ取り組んでいきたいと考えていますし、業界の皆様におかれましても、ばちんこが健全な娯楽となるための取

組をより一層推進していただきたいと思っております。

方向性に逆行 増大している ヘビィ層への依存

また、公益財団法人日本生産性本部発行の「レジャー白書2013」によれば、ばちんこ遊技への参加人口は、対平成23年比で150万人の減少と落ち込む一方で、市場規模は

1700億円増加しています。他方で、年間平均の遊技回数が27・8回から27・4回に減少したのに対し、年間平均の費用については、9万3700円から9万7100円と増加しており、ばちんこ営業の売上げにおいて、いわゆるヘビィユーザーへの依存度が増えます。このことは、業界がこれまで進めてきた安く安心

する遊技産業界を活性化させてV字回復をはかるチャンスだと考えています。ホール、メーカーを含めた業界全体が一体となって力を合わせ、本来の遊技産業界を再生させていく年になってくれれば良いと願っています。業界のこうした動きを、ご当局はぜひ見守っていただきたいと思います。

楠 貴協会では、遊技機メーカーと協力し、遊技客のニーズに応えた射幸性を抑えた、幅のあるゲーム性を有する遊技機の開発に力を注いでこられました。ぱちんこ遊技を、低予算で安心して楽しむことができるといふ大衆娯楽の原点に立ち帰らせようとする貴協会の姿勢を強く感じております。

貴協会には、引き続き、今の方向性を堅持して、ぱちんこ営業の健全化に向けた御努力を続けられることを期待しています。

また、射幸性を抑えた遊技機の開発に向けて、ぱちんこ営業者と遊技機メーカーが認識を共有していくことが重要であると思っております。

ホールとメーカー協力し合って健全な遊技機を



パチンコ産業界のあり方を説く楠課長

庄司 日遊協は昨年春、遊技産業界活性化プロジェクトを立ち上げ、①ファン層拡大 ②高コスト体質の改善 ③健全化——の3施策を挙げて協議をしています。この中の「ファン層拡大」はその後、全日遊連、日工組との現行遊技機検討会に発展しています。この検討会では、スリープ層、ライト層、初心者ターゲットに、ファンが気楽に楽しめるような新しい遊べる向きとなるような新しい遊べる「ぱちんこ機」とそのキャンペーンについて協議しています。キャンペーンの1つの盛り上げを今年4月の日遊協主催「パチンコ&パチスロフェスタ2014」に置いています。もっと長いスパンでのキャンペーン継続を考えています。ホールと遊技機メーカーが協力して新しい遊技機を創出する試みはこれまでになかったことです。

楠 先ほどお話ししたように、限られた数のヘビユーザーを1万2千を超える店舗が奪い合うのではなく、安く安心して遊技をすることができ環境の整備に努めていくことが大変重要だと思います。貴協会では、今年も様々な取組を進めていかれるとのことであり、私としても、ぱちんこ営業者と遊技機メーカーが協調して、業界の健全化に向けて一層努力されることを期待しております。

不正改造の手法は一層複雑巧妙化 厳正に取り締まる

庄司 ゴトに対して、「いわゆるゴト行為等への迅速な対策を講じるためのガイドライン」が業界に周知され、毎年協定が締結されて順調に機能しています。ホール、遊技機メーカー、販社、設備機器の7団体で構成するセキュリティ対策委員会、全日遊連、日遊協、日工組、日電協で構成するゴト対策4団体会議、これに自工会を加えた5団体会議も活動しています。さらに中古機流通協議会、遊技機リサイクル推進委員会も流通の安全性や機歴管理等の面で不正排除に密接に関連しています。不正防

止には業界一丸となって取り組んでいますが、不正手法は複雑巧妙化し、終わりのない攻防となっているのも事実です。

楠 貴協会は、PSIO事務局として、あるいはセキュリティ対策委員会事務局として、不正改造防止対策に取り組みられており、また、ゴト事犯については、その実態と対策を周知徹底していると承知しております。他方で、不正改造の手法は一層複雑巧妙化しており、主基板のICに不正が行われているにもかかわらず、その痕跡が非常に分かりづらいうものも認められていますし、いわゆるノーマル戻しが疑われる遊技機も散見されています。このほか、釘曲げに手を染める営業者等も依然後を絶ちません。これらを踏まえると、不正改造事犯はまだまだ根強く、相当数存在していると考えられます。また、ゴト事案の中には、ホールの従業員が関与するケースもみられます。警察としましては、引き続き、遊技産業界健全化推進機構とも積極的に連携しつつ、厳正な取締りを行っていくこととしておりますので、営業者の皆様におかれても、管理者や従業員への指導を徹底し、不正改造事犯やゴト事犯の防止に向けた各種取

組を積極的に進めていただきたいと思っております。

不正の排除へ 推進機構への 理解が必要不可欠

庄司 遊技産業健全化推進機構の立入検査は今年で8年目となります。機構検査の話では、不正改造される遊技機は以前と異なっており、多機種にわたり、手口も多様化して、検査部を強化しなければならぬ状況にあります。公平な第三者機関としての推進機構を、今後も業界を挙げて支援していくつもりです。

楠 遊技産業健全化推進機構の立入検査実績は、昨年12月末時点で1万8千店舗を超え、この立入検査を端緒に検査に至った事例も多数あり、その成果は着実に上がっていると認識しております。

他方で、一昨年11月に立入検査拒否事案があったほか、昨年10月にも立入検査の妨害事案があったと承知しています。業界の総意で第三者機関として機構を設立し、業界全体でその活動を支えている中で、このような事案の発生を聞くのは非常に残念です。機構の活動の円滑な実施のためには、不正

を排除しようという業界全体の意思と機構の活動への十分な理解が必要不可欠です。この点をしっかりと認識し、機構の存在意義とその活動について、今一度業界の全ての関係者が確認していただきたいと思っております。

警察としては、引き続き、機構と連携して不正改造事犯の取締りに努めていきたいと考えています。

買い取り行為に 関与することは 絶対に許されない

庄司 前任の古谷課長は、昨年の日遊協通常総会での講話で賞品買取り事犯について触れ、「賞品の買取り、買い取らせに係わる規制は、現金提供の禁止や遊技機の規制と並ぶばちんこ営業の根幹をなす規制の1つであり、賭博と一線を画す営業となるためには必ず遵守しなければならぬ規制である

ことを、業界の隅々にまで徹底してほしい」と強調されました。カジノ解禁が現実味を帯びてきた今、貴重なお言葉でした。

「一物一価」「等価交換」の徹底を含めて、行政のお立場から、営業の適正化に向けた助言をいただければと思います。

楠 昨年、某都道府県において、県遊協主導の下、組織的に賞品の買い取らせを行っていたことが判明しました。これは、県遊協のトップである理事長以下の組合員全員が、風営適正化法の趣旨や度重なる行政指導の内容をよく理解していなかったことが主たる要因であると思っております。第三者を装った景品買取法人の設立を始め、いかなる方法であれ、ばちんこ営業者が賞品の買取り・買取りに関与することは絶対に許されません。

このほか、某都道府県において、賞品買取り及び現金提供の違反でばちんこ店の経営者等が摘発された事案がありました。この事件で悪質なものは、当該都道府県の遊技業組合から指導を受けていながら、何ら改善の措置を執ることなく違法営業を継続していたということです。ばちんこ営業者が、賞品の買取りに何らか

の関係性を有しているのであれば、それはもはや第三者とは呼ぶことができないわけですので、今一度認識を新たにしていきたいと思っております。

また、いわゆる一物一価は、風営適正化法等に明記されている等価交換規制の下では当然のことです。これを自分の都合のよいように解釈して違法営業を是正しないという営業者が依然散見されることは、残念に思っております。ばちんこ営業では、いかなる賞品についても、風営適正化法に定める方法以外の方法では提供することが認められません。ですから、全てのばちんこ店において賞品提供が適正な方法で行われるよう、貴協会には、他団体と連携して広報・啓発に努めていただきたいと思っております。

賞品の取りそろえ 他団体と連携して 充実へ努力を

庄司 換金需要の低減という観点から、賞品の持ち帰り運動に引き続き力を入れており、ホール関係5団体は06年に「ばちんこ営業に係る賞品の取りそろえの充実に関する決議」を行っています。しかし、昨年10月に警察庁から「ばちんこ営業に係る賞品の取りそろえの充実の更なる推



依存問題への取り組みを説明する庄司会長

進について」と題する通知が業界関係に送付され、この中で、昨年5月時点での調査で、「いまだ履行されているとはいえない状況が認められる」とし、「由々しき事態」と指摘を受けましたね。

楠 ぱちんこ営業に係る賞品の取りそろえの充実は、客の多様な要望を満たし、換金需要を低減させるためのものであり、法令上の義務であるだけでなく、ぱちんこが大衆娯楽として国民の支持を受ける上で業界において自主的に取り組まなければならない事項であると思います。ですから、貴協会には、他団体と連携して、賞品の取りそろえの充実に不断に努めていただきたいと思います。

なお、その際には、無体物等といった法に抵触する賞品の提供がなされないことにも注意をお願いします。

車内放置死亡 昨年は未然に防ぐ ホールの努力評価

庄司 駐車場での車内放置による子供の痛ましい死亡事故については、昨年は幸いゼロでした。これはホール関係5

団体が「子供の車内放置防止対策マニュアル」をつくるなどして、全ホールへアピールした効果だと思えます。とはいえ、その一因でもある依存問題（のめり込み問題）は依然として深刻で、相談機関のリカバリサポート・ネットワークへの平成24年度の相談件数は、月平均213件と前年より倍増しています。依存対策は1団体では手に負

楠 芳伸課長 ● 略歴

広島県出身。京都大学法学部卒。1989年警察庁入庁。千葉県警刑事部長、警察庁会計企画官兼会計課理事官、警視庁犯罪抑止対策本部副本部長兼刑事・交通・警備・地域・公安・生安・組対部参事官を経て、12年8月、北海道警警務部長。47歳。

えず、業界全体で取り組んでいくべき課題と考えています。

楠 昨年は、5年連続で死亡事故が発生していたぱちんこ店駐車場における児童の車内放置事案を未然に防

ぐことができました。これは、各ホールの営業者が、ホール関係5団体で策定したマニュアルを日々の営業の中で活用し、対策を強化したほか、遊技機販売会社団体においても、ホール駐車場の定期的な巡回活動等の取組を継続的に実施したことなどによるものと考えて

おります。

今年も、引き続き、広報啓発を始め駐車場のパトロールの強化等の取組をお願いします。

RSN支援など 活動強化して 苦しむ人に対応

依存問題相談機関である特定非営利法人リカバリサポート・ネットワーク（RSN）については、平成18年の開設以来、1万1千件を超える相談に対応していることとあり、のめり込みに起因する問題が深刻化

する前の段階で改善を図るだけでなく、のめり込みに陥った方の回復という観点からも、有益な取組がなされていると認識しております。

今後も引き続き、リカバリサポート・ネットワークを始めとする回復支援団体への支援を拡大し、のめり込み問題に悩み、苦しむ人々に十分な対応が行き届くようにしていただきたいと思います。

のめり込み問題は、ぱちんこ遊技の負の側面と言われることがありますが。この負の側面にしっかりと取り組むことは、ファンが、安全に、安心して遊技できる環境の整備の一環でもあります。引き続き業界全体で真摯に対応していただきたいと思います。

植林や清掃など 社会貢献活動を さらに進めたい

庄司 社会貢献は日遊協活動の大きな柱だと思っています。東日本震災被災地でのボランティア活動として、昨年も東京都・関東支部と九州支部からの出動がありました。昨年5月には、大津波で壊滅した青森県千葉間140kmの海岸防災林を再生する林野庁のプロジェクトに賛同し、仙台市荒浜地区でクロマツ、ヤマザ



庄司会長が干支の午の置き物を持って新春の記念撮影

クラ840本を植林しました。この植林は「仙台 共生の森」と名づけられ、現在順調に育っています。日遊協では今後、このプロジェクトへ継続的に参加していきたいと考えています。

また、埼玉県嵐山町の里山づくり10年計画「共生の森」は7年目を迎え、下草刈りなどの手入れが続けられています。このほか、各地のホールでは老人ホームの年寄りの無料招待や地域の清掃活動など、社会福祉や地域との関わりを重視した活動が浸透しています。楠 東日本大震災から、3年近くが経過しましたが、現在も貴協会からボランティア隊を派遣され、復興支援活動を継続しておられるとのことであり、その献身的な対応に敬意を表する次第です。

また、社会福祉事業への支援に加え、清掃活動等を進めておられるところであり、これらの取組は、業界の社会貢献活動として高い評価を受けるのではないかと考えています。

今後、このような活動を幅広く浸透させることが、業界全体の活性化と評価につながるのではないかと思います。

イメージアップへ PRの重要性と 次世代への教育

庄司 企業にとっても遊技産業全体にとっても、人材の育成は大切です。お客様へのサービスも地域とのコミュニケーションもすべて、そこに携わっている社員の資質の高さにかかっているからです。日遊協では今年度、店長・管理職能力開発講習を全国で11回、人事担当者を対象にした人材育成フォーラムを3回予定しています。これに加えて、中堅管理職を対象にした遊技産業マネジメント・カレッジを毎年1回行っています。これらとは別に、日遊協が他団体の協力で実施している遊技機取扱主任者講習・試験が、新規・更新合わせて36回あります。

昨年12月7日には、(株)リクルートの「リクナビLIVE」に遊技産業を代表する形で「ぱちんこ業界特集」のブースを出展しました。出展は3回目となります。603人の学生さんがブースを訪れてセミナーに参加してくれ、盛況に終わりました。同時にリクナビのサイトにも「ぱちんこ業界特集」をアップしました。これらの試みによって

学生さんたちが遊技業界に興味を持ち、就活の対象に考えてくれて、業界関連企業へ優秀な人材が来てくれればいい、来てくれないまでも業界のイメージアップになって若い人たちがホールに足を運んでくれればいいと期待しています。

楠 企業にとつて、優秀な人材を採用し、これまで培ったノウハウを先輩から後輩へ伝承することはとても重要なことと考えます。遊技産業を代表して「ぱちんこ業界特集」のブースを出展し、就職希望者に対して業界の概要を説明されたり、次世代人材の育成を目的として中堅社員を中心に遊技産業マネジメント・カレッジを開催されるなど、人材育成の観点から御努力されているものと感じます。業界団体幹部の方と次世代を担う若手が、業界のあるべき姿について議論されていることは、業界の未来にとつても意義深いことだと思います。現在の業界の取組が今後にも更に充実することを期待しています。

行政とのパイプ さらに太くし 健全化へ邁進

庄司 日遊協は昨年6月の通常総会で一般社団法人への移行を正式に決定し、それに伴う定款の改正等が承

認されました。直ちに内閣府委員会との移行作業に入りまして、今年4月から一般社団法人に生まれ変わる予定です。新しい法人になつても、業界唯一の横断組織として行政とのパイプをこれまで以上に太くし、業界の「健全化」「近代化」「適正化」「社会的地位の向上」に尽力します。そして、健全な大衆娯楽を目指した取組を推進していきます。

楠 貴協会は、平成元年の設立以来、業界唯一の横断的組織として、業界団体と協力の下、射幸性を抑えた遊技機の開発、不正防止対策、環境対策等、長きにわたり、真摯に対応されました。ぱちんこ業界が一定の社会的評価を受けるに至つたのも、貴協会の地道な御努力があつてこそのもと感じております。

これまで貴協会が業界をけん引し、警察庁と連携して様々な問題に正面から対応してこられたことを踏まえれば、今後ともその存在価値は変わるものではなく、ぱちんこ業界が団結して、大衆娯楽としての基盤を盤石なものとするため、貴協会が果たす役割は、ますます大きくなるのではないかと考えるところです。

庄司 本日はありがとうございました。